

平成 27 年度 第 2 回

佐伯市まち・ひと・しごと創生 総合戦略推進審議会 資料

目次

(オリエンテーション資料)

資料 1 推進審議会の今後の流れ (策定まで)	1
-------------------------------	---

(議事資料)

資料 2 佐伯市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンたたき台の概要	2
--	---

資料 3 佐伯市まち・ひと・しごと創生総合戦略たたき台	3
-----------------------------------	---

資料 4 たたき台と意見、既存計画方針の整理	7
------------------------------	---

資料 5 佐伯市における先行した取組 (K P I 記載)	8
-------------------------------------	---

(別冊)

資料 6 平成 27 年度第 1 回佐伯市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進審議会抄録	
---	--

資料 7 平成 27 年度第 1 回佐伯市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進審議会会議録	
--	--

推進審議会の今後の流れ(策定まで)

資料1

第1回:8月5日(水)

【提示した内容】	【御意見いただいた内容】
<ul style="list-style-type: none"> ・まち・ひと・しごと創生の概要 ・佐伯市人口分析 ・佐伯市人口シミュレーション案 	<ul style="list-style-type: none"> ・各分野・業界の現状・課題 ・総合戦略の策定方向 ・まち・ひと・しごと創生に関連する取組

第2回:8月28日(金)

【提示する内容】	【御意見いただきたい内容】
まち・ひと・しごと創生総合戦略たたき台 <ul style="list-style-type: none"> ・基本目標-KPI(項目) ・個別目標・取組-KPI(項目) 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標設定の妥当性 ・KPI設定の適切さ ・重点を置くべき箇所 ・追加すべき目標、取組 ・文言の修正

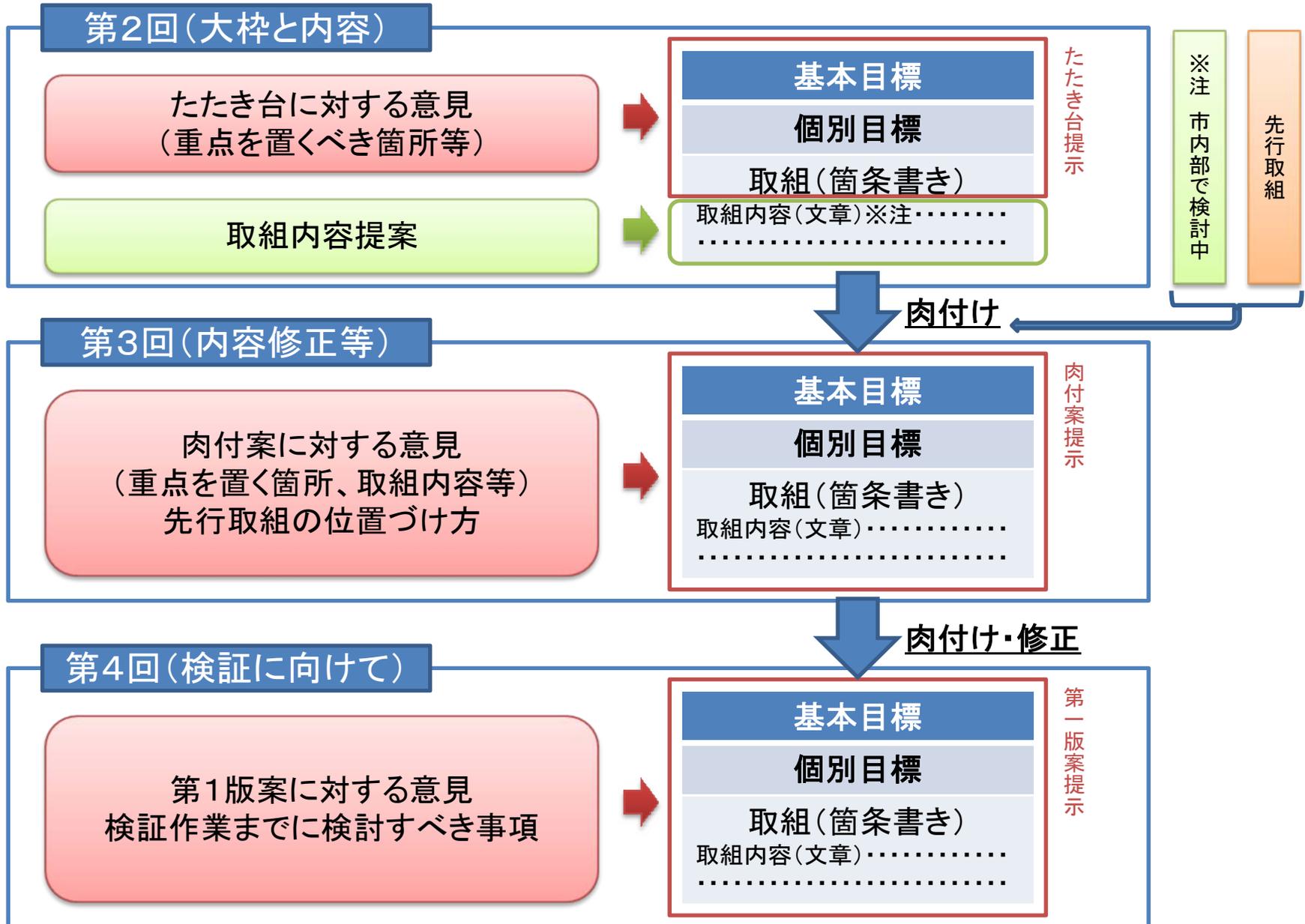
第3回:9月24日(木)

【提示する内容】	【御意見いただきたい内容】
①まち・ひと・しごと創生総合戦略肉付け案 <ul style="list-style-type: none"> ・基本目標-KPI ・個別目標・取組-KPI ②アクションプラン(先行取組) <ul style="list-style-type: none"> ・基本目標-個別目標・取組-先行取組-KPI 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標設定の妥当性 ・KPI設定の適切さ ・重点を置くべき箇所 ・追加すべき目標、取組 ・文言の修正 ・先行取組の総合戦略への位置づけ方

第4回:10月19日(月)

【提示する内容】	【御意見いただきたい内容】
①まち・ひと・しごと創生総合戦略第1版案 <ul style="list-style-type: none"> ・基本目標-KPI ・個別目標・取組-KPI ②アクションプラン(先行取組) <ul style="list-style-type: none"> ・基本目標-個別目標・取組-先行取組-KPI 	<ul style="list-style-type: none"> ・KPI設定の適切さ ・追加すべき取組 ・文言の修正

推進審議会での総合戦略肉付けイメージ



佐伯市人口ビジョン(たたき台)の概要

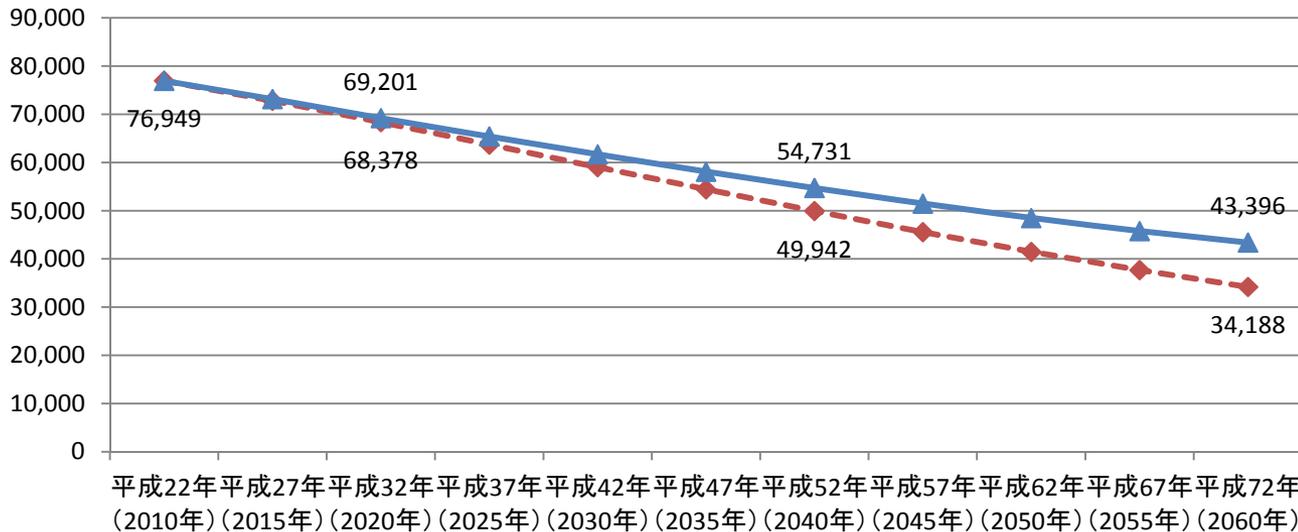
資料2

人口の現状分析

- ・総人口は、昭和30年(1955年)にピークを迎え、その後減少が続いている。人口減少の局面は、国に先行している。
平成27年(2015年)7.5万人→平成32年(2020年)6.8万人→平成72年(2060年)3.4万人
- ・生産年齢人口(15歳～64歳)についても、減少の見込みであり、各分野における担い手不足が進行すると予測される。
平成27年(2015年)4.0万人→平成32年(2020年)3.4万人→平成72年(2060年)1.6万人(平成27年人口の6割減)
- ・高齢化率については、平成32年(2020年)から40%を超える。5人に2人が高齢者の社会となる。

人口の将来展望

---◆--- 社人研推計準拠 ▲ 佐伯市が目指す将来人口



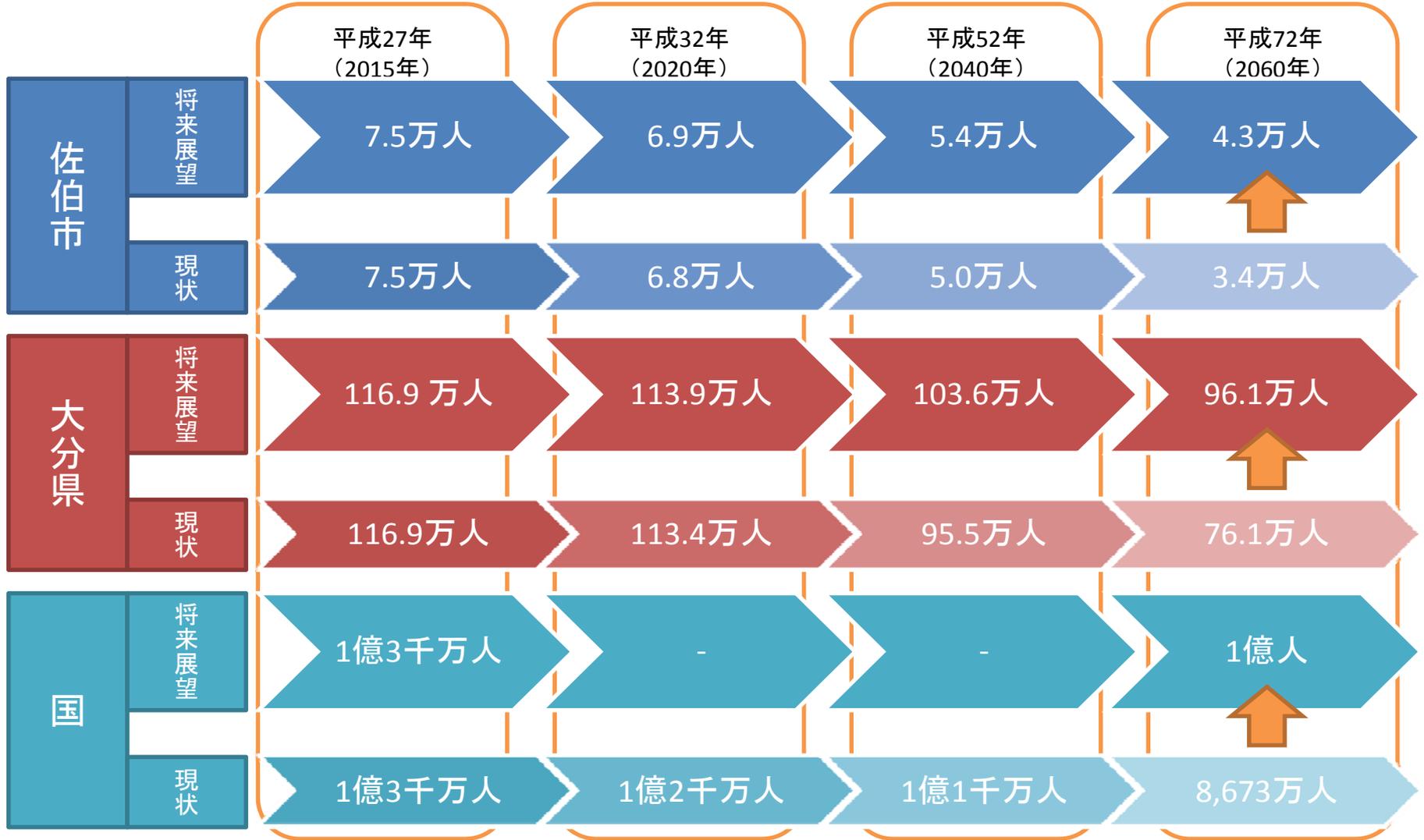
合計特殊出生率仮定値
平成47年(2035年)に2.07
平成52年(2040年)に2.17
※国目標値2.07
県目標値2.3

社会増減仮定値
移動率のトレンドに加え、
政策による毎年60人の転入
を仮定。

佐伯市が目指す将来人口における自然増減と社会増減の影響

	平成27年 (2015年)	平成32年 (2020年)	平成37年 (2025年)	平成42年 (2030年)	平成47年 (2035年)	平成52年 (2040年)	平成57年 (2045年)	平成62年 (2050年)	平成67年 (2055年)	平成72年 (2060年)
自然増減	-2,838	-3,452	-3,717	-3,710	-3,606	-3,512	-3,431	-3,135	-2,802	-2,475
社会増減	-960	-498	-69	-18	7	154	170	142	107	88
増減計	-3,798	-3,950	-3,785	-3,728	-3,599	-3,358	-3,261	-2,993	-2,695	-2,386

人口展望の比較



佐伯市まち・ひと・しごと創生総合戦略たたき台

1 基本的な考え方

(1) 国のまち・ひと・しごと創生総合戦略との関係

国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に示された基本的な考え方や政策5原則等を基に、本市における「まち」「ひと」「しごと」の創生を目指します。

(2) 第一次佐伯市総合計画との関係

本市では、平成20年度に「九州一の広大なやさしさ 佐伯市」を将来像とする「第一次佐伯市総合計画」を策定しました。第一次佐伯市総合計画では、国の掲げる4つの基本目標の分野（雇用、人の流れ、結婚・出産・子育て、地域づくり）に当てはまる目標や具体的な施策を一部含んでいます。

したがって、これら目標や具体的な施策については、「佐伯市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に盛り込んでいき、新たな施策とともに推進していきます。

(3) 基本目標設定と施策検証の枠組み

国及び大分県の総合戦略を勘案しながら、本市における課題解決を目指した5年後の基本目標を設定します。その際、基本目標には、実現すべき成果に係る数値目標を設定します。

また、基本目標ごとに行うべき施策の基本方向と具体的な施策を記載し、各施策の効果を客観的に検証できる指標（重要業績評価指標（KPI）Key Performance Indicators）を設定します。

施策の検証については、外部有識者等で構成する佐伯市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進審議会にて行い、必要に応じて毎年度改訂を行っていきます。

(4) 計画の改訂

国や大分県、近隣市町村においても毎年度の検証・改訂を行います。それらとの整合を図り、必要な見直しを随時行っていきます。

2 基本目標

基本目標1：出産・子育ての希望をかなえる

<基本的方向>

全国的に、個人が置かれている社会経済状況により、家族の一員としたい子どもの数が実現できにくくなっています。これまで佐伯市では、地域総参加で子育てが楽しくなる環境づくりに取り組んできました。子ども・子育て支援についてより一層の充実を図り、現実の子どもの数と夫婦が希望する子どもの数が近づくよう努めます。

K P I：現実の子ども数/希望子ども数

○個別目標1：子どもを安心して産み育てる環境づくり

- ・妊娠・出産支援の充実
- ・子育て支援サービスの充実
- ・子育ても仕事もしやすい環境づくり

K P I：子育て支援サービスについて満足している市民の割合

○個別目標2：地域全体で子育てを支える

- ・豊かな教育環境の整備を行う
- ・地域ぐるみの子育て体制の充実

K P I：特色ある学校づくり実践指定校の割合

基本目標2：人と人をつなぎ、次代のいのちきを育む

<基本的方向>

佐伯市では、農林水産業や商工業など様々な産業が起業・創業され、栄えてきました。これら産業が、佐伯市の稼ぐ力と雇用力を支えています。既存産業を未来に継承していくためには、世代間のマッチングが必要です。また、地域を活性化するためには、起業・創業を促進する必要があります。

K P I：新規雇用者数、創業者数

※いのちき…方言であり、生計・生活の意。

○個別目標1：地域資源を有効活用した農林水産業の振興

- ・地域資源を有効活用した農林水産業の振興に取り組む
- ・農林水産業における担い手の育成

K P I：農林水産業における新規就業者数

○個別目標2：商工業の振興

- ・意欲を持って仕事ができるよう、企業活動の環境整備や支援を行う
- ・意欲ある創業者・後継者を育成する
- ・求人側と求職者側とのマッチングを支援する

K P I : 新規雇用者数、創業者数

○個別目標3：街・浦・里の魅力（味力）を活かした観光・ツーリズムの振興

- ・観光資源を掘り起こすとともに、磨き上げ、有効活用に取り組む

K P I : 観光施設年間利用者数、道の駅等レジ客数

基本目標3：佐伯市への人の流れを促す

＜基本的方向＞

（起草中）人口減少社会において、地域の活力を失わないためには、地域を想う「佐伯人（さいきびと）」が必要です。今、佐伯市に暮らす佐伯人だけではなく、市外にも佐伯人を創出し、市内外の交流、ひいては佐伯市への定住に結びつける必要があります。

K P I : 転入者数

※佐伯人（さいきびと）

佐伯の魅力ある資源（歴史、産物、食文化、自然環境など）を知り、それに誇りを持つとともに、市内外に情報発信し、その活用や保全に積極的に取り組む人。佐伯の地域づくり・活性化を担う人財を指す。

○個別目標1：佐伯人の創造

- ・交流人口の増加と定住促進に向けた取組を強化する
- ・次世代の佐伯人を育成する

K P I : 転入者数

○個別目標2：佐伯人が多様に活躍する地域づくりを支援する

- ・高齢者のいきがづくりを支援する
- ・地域づくりに向けた市民の活動を支援する
- ・外部人材による地域づくりを支援する

K P I : 補助金に頼らない事業件数、地域に貢献していると感じる市民の割合

基本目標4：街・浦・里が支え合い、切磋琢磨する

＜基本的方向＞

「佐伯の殿様、浦でもつ」といわれるように、昔から街・浦・里がそれぞれに恩恵をもたらして来ました。また、街・浦・里のそれぞれに地域資源が存在しています。今後も街・浦・里が支え合い、互いに高めあいながら、まちづくりに取り組みます。

K P I : 市内総生産額

○個別目標1：地域の個性を尊重し、特性をいかしたまちづくりを進める

- ・中心市街地の活性化を行う
- ・各地域におけるコミュニティづくりを推進する
- ・地域のストックを有効活用する

K P I : 未活用空き家件数

○個別目標2 : 住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられるまちをつくる

- ・ 利便性の高い生活交通体制の構築
- ・ 災害に強いまち（人）をつくる
- ・ 小規模集落対策を推進する

K P I : すすんで暮らし続けたいと思う市民の割合

たたき台と意見、既存計画方針の整理

資料4

佐伯市まち・ひと・しごと創生総合戦略たたき台	第1回推進審議会での意見	新市建設計画(注1)	第1次佐伯市総合計画(注2)
基本目標1: 出産・子育ての希望をかなえる			
個別目標1: 子どもを安心して産み育てる環境づくり			
①妊娠・出産支援の充実	情報発信・PR	4-1保健・医療の充実	4-3子育てが楽しくなるまちをつくる
②子育て支援サービスの充実	情報発信・PR	4-5子育て支援の充実	4-3子育てが楽しくなるまちをつくる
③子育てでも仕事しやすい環境づくり	子育てと仕事との両立支援		
個別目標2: 地域全体で子育てを支える			
①豊かな教育環境の整備を行う		5-1学校教育の充実	5-1豊かな教育環境の整備を行う
②地域ぐるみの子育て体制の充実		4-5子育て支援の充実	5-3子どもたちの豊かな心の育成を図る
基本目標2: 人と人をつなぎ、次代のいのちを育む			
個別目標1: 地域資源を有効活用した農林水産業の振興			
①地域資源を有効活用した農林水産業の振興に取り組む	各分野における裾野分野の支援		6-1地域資源を有効活用した農林水産業の振興とブランド化に取り組む
②農林水産業における担い手の育成	キャリア教育	6-1.2.3農業・畜産の振興、林業の振興、水産業の振興	6-1地域資源を有効活用した農林水産業の振興とブランド化に取り組む
個別目標2: 商工業の振興			
①意欲を持って仕事ができるよう、企業活動の環境整備や支援を行う	人材育成支援	6-6創業・就業支援策の強化	6-2意欲を持って仕事ができるよう、企業活動の環境整備や支援を行う
②意欲ある創業者・後継者を育成する	創業支援、マッチング	6-6創業・就業支援策の強化	
③求人側と求職者側とのマッチングを支援する	マッチング、キャリア教育		
個別目標3: 街・浦・里の魅力(味力)を活かした観光・ツーリズムの振興			
①観光資源を掘り起こすとともに、磨き上げ、有効活用に取り組む		6-5観光・レクリエーションの振興	6-3住んでよし、訪れてよしの地域づくりを観光振興につなげる
基本目標3: 佐伯市への人の流れを促す			
個別目標1: 佐伯人の創造			
①交流人口の増加と定住促進に向けた取組を強化する	空き家対策	7-1地域間連携・交流の推進 8-2住民活動支援の推進	7-3交流を通じ、縁(えにし)豊かなふれあいを 行う
②次世代の佐伯人を育成する	市民が愛するものづくり		
個別目標2: 佐伯人が多様に活躍する地域づくりを支援する			
①高齢者のいきがいつくりを支援する	高齢者の活躍の場づくり	4-2高齢者福祉の充実	4-2地域福祉活動を推進し、福祉体制の整備を 図る
②地域づくりに向けた市民の活動を支援する		8-2住民活動支援の推進	7-2地域づくりに向けた市民の活動を活発に する
③外部人材による地域づくりを支援する			
基本目標4: 街・浦・里が支え合い、切磋琢磨する			
個別目標1: 地域の個性を尊重し、特性をいかしたまちづくりを進める			7-5地域の個性を尊重し、特性をいかしたまち づくりを進める
①中心市街地の活性化を行う		2-3市街地の整備	2-3市街地、特に中心市街地の活性化を行う
②各地域におけるコミュニティづくりを推進する	地域とのつながり 各地域の個性みがき	8-2住民活動支援の推進	
③地域のストックを有効活用する	空き家対策		
個別目標2: 住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられるまちをつくる			
①利便性の高い生活交通体制の構築		2-2公共交通の整備	2-4利便性の高い、生活交通体系を構築する
②災害に強いまち(人)をつくる		3-2防災体制の強化及び国土保全の 推進	3-2災害に強いまち(人)をつくる
③小規模集落対策を推進する			

(注1)新市建設計画…佐伯市・南海部郡5町3村合併協議会が合併後の新しい市の基本方針を策定したものの。

(注2)第1次佐伯市総合計画…平成20年に策定されたもので、市のまちづくりの基本方針となるもの。

佐伯市における先行した取組 (KPI記載)

平成27年8月

佐伯市 秘書政策課

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金

国は、地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策として、平成26年度3月補正予算に「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」を計上。地方自治体に対して、人口等に応じた交付金額を配分。

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金

地域消費喚起・生活支援型

生活者への支援、生活環境の整備

地方創生先行型

まち・ひと・しごとの創生に向けた「総合戦略」の先行的実施に対する支援

- ・各事業にKPIを設定。
- ・平成27年度末に検証を予定。

佐伯市まち・ひと・しごと総合戦略に位置づけ

国の平成26年度3月補正「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」に対応し、今年度を実施する事業は、以下のとおり。

○ 地方創生先行型 175,415千円(うち交付金107,000千円)

事業名	予算額	事業概要	所管課
佐伯市総合戦略策定事業	7,783千円	佐伯市版総合戦略の策定に要する経費	秘書政策課

佐伯市における先行した取組(その1)

国の平成26年度3月補正「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」に対応し、今年度を実施する事業は、以下のとおり。

○ 地方創生先行型 175,415千円(うち交付金107,000千円)

事業名	予算額	事業概要	KPI	所管課
空き家バンク事業	1,000千円	本市への定住促進を図るため、空き家バンクの運営・管理業務の委託料を計上	空き家バンク物件に係る売買契約または賃貸契約の成約件数5件	地域振興課
地域支援員設置費	9,851千円	過疎化・高齢化が進む周辺部地域の住民が、安全・安心に生活できるよう住民の声を幅広く吸い上げるために地域支援員を設置する事業	世帯訪問回数全地域年間合計2,000人	地域振興課
地域おこし協力隊設置事業	18,192千円	地域力の維持・強化を図るため、意欲がある都市部住民を地域おこし協力隊として設置する事業	地域おこし協力隊員が支援する団体の新規事業化件数1件	地域振興課
おおいた子育てほっとクーポン活用事業	24,265千円	子育て世帯の精神的・身体的・経済的負担の軽減を図るため、未就学児童のいる世帯に子育て支援サービス等が利用できるクーポンを交付する事業	子育て支援サービスを知っている人の割63.6%	こども福祉課
5歳児健康診査事業	1,131千円	5歳児を対象に、身体的・精神的な健康発達状態を確認し、軽度の発達上の問題等を就学前に発見し、就学後の不適応を軽減するための事業	アンケート回収率95%	健康増進課
子宝支援事業	4,000千円	不妊治療を受けている夫婦に対し、治療に要する費用を一部助成する事業	助成件数40件	健康増進課
林業用苗木生産事業	4,100千円	林業循環型施業確立のため、佐伯地域におけるスギ苗木の不足対策として、スギ苗木の生産者に対して補助金を交付する事業	苗木生産150,000本	農林課
木造住宅建設助成事業	40,000千円	佐伯市産木材の利用促進を図るため、市産材を利用して木造住宅を新・増築する場合に建築材料の構造材に対して補助する事業	構造材使用量2,000立米 定住世帯数75世帯	農林課

佐伯市における先行した取組(その1)

国の平成26年度3月補正「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」に対応し、今年度を実施する事業は、以下のとおり。

○ 地方創生先行型 175,415千円(うち交付金107,000千円)

事業名	予算額	事業概要	KPI	所管課
さいきブランド創出事業	5,057千円	佐伯市産品のブランド化及び流通促進等を推進するための販売促進活動費用や商品開発、流通改善、販路拡大を図る費用に対して補助する事業	情報発信ブログ閲覧数 4,000件	観光課
佐伯市ブランド流通促進協議会事業費補助金	5,000千円	佐伯市ブランド流通促進協議会が行う流通戦略及びブランド認証並びに6次産業化を推進する事業に補助		
ツーリズム戦略事業	29,602千円	東九州自動車道全線開通に備え、新たな観光需要に対応するため県、市、関係団体でまとめた「九州一さいき・ツーリズム重点戦略」に基づいた対策事業であり、今回は観光標識設置工事等を実施	観光施設年間利用者数 256,643人	観光課
ふるさと佐伯観光交流事業	8,000千円	在京佐伯出身者を対象にふるさと佐伯の優れた農林水産物や食のまち「佐伯」を紹介し、佐伯地域の一次産品等の認知度向上と販売促進を図る。また、在京者との交流や親睦を図ることで「人」、「もの」の相互交流を強化し、観光客の増加につなげるための事業		
地域商業機能維持支援事業	5,000千円	買い物弱者を有する地区と「流通維持協定」を締結した小規模移動販売事業者の車両に係る経費等を支援する事業。	宅配及び移動販売の利用者数合計200人	商工振興課
宅配事業	3,000千円	佐伯市番匠商工会が商店等の少ない宇目・本匠地区の一部を対象に行なっている「宅配事業」に補助する事業		
現代アートプロジェクト事業	2,000千円	市内で活躍するアーティストに対し、中心市街地の空き家、空き店舗を活用して制作及び発表の場を提供することで、市中心部のアート作品を巡る散策コースを作り、観光客等の回遊性を実現する事業	発表アーティスト人数3人 発表の場における延べ参加人数50人	商工振興課

佐伯市における先行した取組(その1)

国の平成26年度3月補正「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」に対応し、今年度を実施する事業は、以下のとおり。

○ 地方創生先行型 175,415千円(うち交付金107,000千円)

事業名	予算額	事業概要	KPI	所管課
地域メディアプロデューサー養成事業	280千円	市内中小企業のプレゼン力を高め、企業の持つポテンシャルを売り込める人材を育成する事業	さいき立志塾入塾20名	商工振興課
さいき立志塾運営事業	1,654千円	市内商工業の若手経営者及び後継者等の志を高めるための塾を開設するとともに、次代を担う人材育成を行い、全国につながる人的ネットワークを育む事業		
中心市街地空き店舗活用事業	5,000千円	中心市街地の空き店舗を活用して起業しようとする個人・団体等に対して支援する事業	新規出店2店舗	商工振興課
きらり輝く繁盛店づくり事業	500千円	商店街の活性化のため、経営ノウハウを持つ専門家により個店事業主の経営研修を実施し、意欲のある商店街を支援する事業		